

(別添)

令和5年度 長崎県立北松農業高等学校

学 校 評 価 表

教育方針	長崎県教育方針に基づき、高等普通教育と農業・家庭に関する専門教育を施し、道徳教育を通して、誠実な人間性と自然を大切にすることを培い、また我が国及び郷土の発展に寄与するとともに、国際社会に貢献できる調和のとれた人間の育成を目指す。	教育目標	①志を持ち、自ら学ぶ態度を育て、基礎的な学力と考える力を身につけさせる。 ②農業・家庭に関する専門的知識と技術を習得させ、実践力を身につけさせる。 ③自然を守り、生命を慈しむ豊かな心と健康な身体を育てる。 ④国や郷土、母校を愛し、責任と礼節を重んじ、協同・奉仕の精神を養う。 ⑤進展する社会に対応し、国際社会に視野を広げ貢献しようとする気概を育てる。
------	--	------	---

※ 4 十分に達成している 3 おおむね達成している。 2 不十分 1 殆ど達成していない

1 学校経営 「全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的成果の評価」 ※()は、令和4年度評価値

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①経営方針	経営方針・教育目標の具現化	経営方針を学校の内外に明確にし教職員の共通理解のもと教育活動を行う。	学校の経営方針・教育目標を意識した教育活動を実践している。	3.0 (3.0)	3.1 (3.0)	成果：様々な教育活動がコロナ禍以前にもどり、生徒の教育活動も充実してきている。 課題：入学志願者の未だに定員に満たない状態であり、今後も本校の魅力的な教育活動の内容を外部に発信していくことが重要と感じる。
			学校の経営方針や目標を生徒・保護者、地域社会に示すとともにHPや学校新聞等で広報している。	2.9 (3.0)	3.1 (2.9)	
②農務部目標	アクションプランの推進	アクションプランに沿った取り組みを行う。	5つの行動、10の具体策にともなった実践を行っている。	3.0 (3.0)	3.1 (3.0)	成果：交流学习の受け入れ、地域開放講座や小中学校先生対象の講習会の開催など地域貢献・地域連携は推進できている。 課題：「グローバル教育で人材を育てる学校」「地域防災を推進する学校」など、なかなか取り組みにくい目標もあり、今後具体的方策についても検討する必要がある。
③学年経営	教育目標の推進	教育目標に沿った経営を行う。	教育目標・学年目標の生徒への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する。	2.9 (3.1)	3.0 (3.1)	1年：担任の先生を中心にクラスでのトラブル等に対して対応することができた。今後、進路面・学習面に対しての自主性を促す指導が必要である。
④学級経営	学年目標の推進	学年目標に沿った経営を行う。	学級目標の実現を図るとともに生			2年：修学旅行も無事に終えること

			徒が自己目標に沿った学校生活を送れるように支援する。	2.9 (3.1)	3.0 (3.1)	ができました。各先生方のご協力に感謝いたします。全体的には長期欠席の生徒もいたが、学年全体で取り組むことができ現在では登校できている。学習面などで苦慮する生徒への対応が今後必要になる。 3年：多くの先生方のご指導により進路を決定することができた。進路決定をしていく中で、成長できた生徒も多かった。今後の活躍を期待したい。
--	--	--	----------------------------	--------------	--------------	---

2 教育活動-1 「教育活動全般における計画的、組織的な教育成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①教科指導	学力の向上	基礎学力の向上と家庭学習の定着を図る。	家庭学習の課題を与え、小テストを行うとともに検定や資格取得を奨励する。	2.9 (2.9)	2.9 (3.0)	成果：各教科で熱心に指導を行っている。1人1台パソコンによる課題や小テストの出題・回収も昨年度より多くなった。 課題：図書館の利用者は減少傾向である。来年度に向けて、読書欲を喚起する手立てを考える必要がある。
			朝の10分間読書の指導・励行および学校図書館の活用を奨励している。	3.0 (3.1)	3.1 (3.1)	
	評価と指導の一体化	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う。	担当教師間で評価基準を話し合い、共通理解のもとで評価を行っている。	3.0 (3.0)	3.1 (3.1)	成果：観点別評価は、評価基準に照らして教科内でしっかりと評価がなされている。 課題：観点別評価については、今後も評価基準等を検討・改善していく必要がある。
			評価はその後の授業にフィードバックし、生徒の実態に応じた授業の工夫改善に努めている。	3.0 (3.0)	3.0 (3.0)	
②総合的な探求(課題研究)代替	総合的な探求の推進	学習指導要領のねらいを踏まえ学校の特性を生かした活動を展開する。	総合的な探求の時間のねらいに沿った課題研究を展開している。	3.0 (3.1)	3.0 (3.1)	成果：各学科とも地域や学科の特性、生徒の興味関心を活かした研究を進めることができている。 課題：1人1台パソコンを効果的に活用し、SDGsに関連した課題等にも主体的に取り組むことができるような指導を行う。
③特別活動	計画的な活動の遂行	学校学年の教育目標に沿った年間計画により活発な活動を展開する。	年間計画に基づき事前準備を行い各種行事運営、全校集会を展開し活発なホームルーム活動を行っている。	3.0 (3.0)	3.0 (3.0)	成果：コロナ禍前とほぼ同等の学校行事運営、全校集会等が実施できた。しっかりした事前準備により修学旅行やマラソン大会なども例年通りに行うことができた。
	自発性の涵養	生徒の自発的自主的な活動を推進する。	行事運営・委員会活動に積極的な関わりを持たせることで、生徒の自発	2.9	3.0	

			性・自主性を涵養するとともに活発な活動を展開する。	(3.0)	(3.0)	課題：生徒の自主性を伸ばすためにも、PDCAによる実施、全体の検討を行い今後の充実を図る。
	活動環境の整備	学校行事を充実させる。	学校生活の充実と発展に資する効果的な学校行事になるよう活動内容を工夫し見直しを行う。	3.0 (3.0)	3.0 (3.1)	
④道徳教育	心の教育の推進	生徒たちの規範意識の高揚と公共心を養っていく。	特別活動や学校行事、農業クラブ活動等を活用して生徒の心の教育を進める。	3.0 (3.0)	3.0 (3.0)	成果：各種委員会においては、各委員会とも毎学期に目標を立てて活動を行った。コロナ禍を乗り越え、農業文化祭や体育祭も従来通り実施されたことで、周囲に感謝する心もより涵養できた。 課題：地域に開かれた学校として様々な連携や地域貢献を進めている。社会の一員として登下校時の姿やマナーなど、今後も継続して指導を行うことが必要である。
	自覚を深める生徒指導	人間としての基本的マナーやルールを守る気持ち、善悪の判断ができる生徒を育成する。	容儀指導やバス・MRの乗車指導、校内外巡視等をとおして、全教職員が生徒に対して躰教育を行う。	2.9 (2.9)	3.0 (3.0)	
	教科の特性を生かした道徳教育	教科の特性を生かして、それぞれの分野で道徳心を植え付ける教育を推進する。	個々の授業時間厳守や開始時の挨拶励行、また教科内容の特性を生かした命の大切さ、モラル向上などの教育を行う。	2.9 (3.0)	3.0 (3.0)	

2 教育活動-2 「教育活動全般における計画的、組織的な教育成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①生徒指導	規範意識の醸成	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。	授業をはじめ、学校教育活動全体を通じ、又職員や保護者との連携をとおしてきめ細かな指導を行う。	2.9 (2.9)	3.0 (3.0)	成果：問題行動の件数は2件で、大幅に減少した。謹慎指導も今年度はゼロで規範意識は向上していると思われる。 課題：校則の必要性や改善を学校全体で考える時間を作り、理解やさらなる規範意識向上につなげていく。
	危機管理体制の整備	安全教育の充実。	安全な教育環境作りに努めるとともに組織的危機管理体制を整える。	2.9 (3.0)	3.0 (3.0)	
②進路指導	進路意識高揚	進路意識の向上。	校内模擬試験の実施。各種講演会や学校説明会等への参加を通して早期から進路に対する意識を向上させる。	2.9 (3.0)	3.0 (3.1)	成果：4年制大学1名、農業大学校5名進学。農業法人就職はなし。数年ぶりや新規の企業・学校への進路決定者がおり、県内外へ分散した反面、9名が同じ企業へ就職する状況もあった。進路決定率ほぼ100%の見込み。 課題：愛玩動物関係は専門学校等への進学がほぼ必須である現状をもっと早く把握し、生徒に伝えるべきであった。分掌主催の校内行事が一部滞ったので、現状に合わせた校内行事として、積極的に動く。
	就職対策	就職指導の強化。	生徒が望ましい勤労観や職業観を持てるよう指導するとともに生徒の適性に合う企業を紹介する。	2.9 (3.0)	2.9 (3.0)	
	進学対策	進学指導の強化。	生徒の興味や適性に応じた将来の職業を考えた上での進学指導を行う。そのための特別な学習プログラムを設定する。	2.8 (2.9)	2.8 (2.9)	
	就農対策	農業自営指導の強化。	農業大学校等担い手養成機関での研修、先進農家への委託実習の参加	2.9	2.9	

			、就農希望生徒への情報提供など指導強化に努める。	(2.9)	(3.0)	
③教育相談	悩み対応	カウンセリングの充実を図る。	悩みを抱える生徒に対する教育相談を適切に行う。	3.1 (3.0)	3.2 (3.1)	成果：スクールソーシャルワーカーの新入生全員の面談を実施し、相談しやすい環境づくりと教職員との情報共有で、早期対応に繋がった。 課題：スクールカウンセラーの派遣事業をうまく活用できなかった。今後は、生徒だけでなく保護者にとっても相談しやすい環境づくりを目指したい。
			保護者の悩みや相談に親切に対応する。	2.9 (3.0)	3.0 (3.0)	
④健康・安全 教育	健康管理と安全意識の啓発	健康・安全についての思考力と判断力を育て、意志決定する力を育てる	保健行事を通して、自らの心身の健康状態を把握させ、問題に対処し、実践できるようにする。	2.9 (3.0)	2.9 (3.2)	成果：長期休暇後の調査で歯科に関しては自分の歯の状態を把握できている人の割合が増えている。齲歯が2本以上ある生徒を毎月指導している成果と考える。 保健委員会のテーマ「食と健康」で1年間取り組んできた。保健だよりや掲示物で、全校生徒に情報発信が出来た。 課題：歯科受診に関して、保護者の理解と本人の意識付けが必要。
			健康・安全活動の中心となる保健室の活用のしかたを身につけさせる。	3.0 (3.0)	3.0 (3.1)	
			保健だよりや講話により「食育」を推進する。	3.1 (3.1)	3.3 (3.2)	
⑤人権・同和 教育	同和教育の推進	人権問題に対する意識を持たせて解決するための実践力を身に付けさせる。	感染症予防に対する正しい知識を身につけさせ、感染予防に努めさせる。	3.1 (3.1)	3.1 (3.2)	成果：人権教育を通して他者を思いやる気持ちを持つ大切さを醸成できた。 課題：本校生徒の実情に合った人権教育の展開（指導方法やDVDの選定など）が必要である。
			人権尊重の視点で教育活動を展開し、生徒に人権課題を解決しようとする態度を養う。	2.9 (3.0)	3.0 (3.1)	
⑥心の教育	いじめの抑止	思いやりの心を育成する。	心の教育の推進に向けて意識の高揚を図り、分掌・学年等の連携を密にして教育活動全体を通じて指導する。	3.0 (3.0)	3.0 (3.1)	成果：クラスに掲示する「いじめ撲滅宣言」を作成した。 課題：自分の言動が周囲に嫌な思いをさせていることに気づかない生徒への指導。
⑦特別支援教育	特別支援教育の推進	対象生徒への支援方法や技術等について研鑽を深める。	特別支援教育について校内研修を行うとともに、対象生徒の支援について教職員間の連携を密にする。	3.0 (2.9)	3.0 (3.0)	成果：北松分校へ教育相談を2回実施し、全職員で情報共有を行った。また、特別支援教育の職員研修を行い、配慮が必要な生徒の支援体制を構築できた。

						課題：学習障害に関する職員研修の必要性を感じている。
⑧部活動	部活動の推進	各部活動を通じて、生徒の個性や能力等の伸張に努める。	部活動への参加を奨励し、生徒は活発な活動を行う。	2.7 (2.8)	2.8 (2.8)	成果：測量部農ク全国大会優秀賞、相撲部新人九州大会出場、権現太鼓部県高文連銀賞受賞、農ク県連大会園芸最優秀、優秀賞獲得。 課題：各種大会が終了しその後生徒の転部が目立つようになった。今後どのように継続させていくかと、指導者の先生方が複数顧問を持っていることへの対応が必要である。
			部活動を通じて、生徒が達成感を持ち、好ましい人間関係づくりや個性の伸長を図ることのできるよう指導する。	2.8 (2.9)	2.8 (3.0)	

3 組織運営 「教育活動の円滑化，教師集団の共同性に関わる教育的成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①校務分掌	組織体制の機能化	各自の役割分担が明確で適切に仕事を処理する。	分掌、学年、教科等の役割分担と連絡調整を適切に行い学校全体の業務を円滑に実施する。	2.8 (3.0)	2.8 (2.9)	成果：職員相互の連携がなされ、行事や学校運営は滞りなく実施することができた。 課題：働き方改革をすすめる中で、行事の精選や会議、部活動の在り方など効果的な取り組みを行う必要がある。
②各種委員	各種委員会の活性化	各種委員会の活動の効率化と活性化を図る。	各委員会での結果が教育活動や学校経営等に生かされている。	2.9 (2.9)	2.9 (3.0)	成果：学級委員の挨拶啓発ポスターの掲示、体育委員中心の体育祭、マラソン大会の実施、文化委員による緑葉作成、保健委員の農文祭での展示など各委員会工夫を凝らした活動をすることができた。 課題：各種委員会の目標や活動をクラスまたは職員にわかりやすく報告する必要がある。目標や活動内容を理解していただいた中で生徒主体の活動になるよう今後指導していきたい。
③校内研修	教職員の資質向上	教科指導力、生活指導力等を向上させるため、校内研修を実施する。	研究授業・授業参観等の機会を設けるなど、全職員による校内研修を行い指導力の強化を図る。	2.9 (2.8)	2.9 (2.9)	成果：ICT機器を活用するための校内研修を実施し、多くの先生方に参加していただくことができた。また昨年度より学校ホームページの更新率が上昇した。
			校外研修の成果を教職員に伝達し			課題：先生方のニーズに合った校内

			知識の共有に努めている。	2.7 (2.8)	2.9 (2.9)	研修を計画実施する必要がある。 また、職員への人権教育の実施も必要である。
--	--	--	--------------	--------------	--------------	--

4 教育環境 「学校の置かれている条件や環境に関わる教育的成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①環境整備	美意識の高揚	学校環境の美化意識を高め自然環境を守る態度を養う。	清掃活動に積極的に参加させる。	3.0 (3.1)	2.9 (3.1)	成果：先生方の日々の清掃活動指導により、校内がきれいに保たれている。農業の先生や事務の先生方による環境整備の尽力も大きく、非常にありがたかった。日々の業務でお忙しい中、職員トイレの清掃にも取り組んでいただいた。 課題：生徒の掃除場所への移動が遅く、掃除が行き届いていない場所があった。
			ゴミの分別を徹底させるとともにエコ活動を推進する。	3.0 (3.1)	3.1 (3.2)	
②施設・設備の管理	施設設備の維持管理	施設設備の効率的な維持改修と安全管理に努める。	施設設備の定期的な安全点検や補修を行う。	3.0 (3.0)	3.0 (3.0)	成果：今年度も予算措置された工事を校務等に支障なく完了できた。その外の施設設備も優先順位を検討し、予算の範囲内で可能な限り維持改修を実施したが、次々と発生する施設設備の破損に対応が追いついていない状況である。引き続き県教委への相談及び要求を行っていく。 ・電気使用料に関しては、教室設置のエアコンの稼働により基本料金が増加したため、目標は達成できていないが、次年度には体育館電灯のLED化が予定されており、節電効果に期待したい。 課題：限られた予算での、老朽化及び、多発する自然災害に対する施設設備への対応 ・エアコンを活用しながらの効果的な節電
		電気使用料を前年度比で2%削減する。	電灯、エアコン等の節電に努める。	3.0 (3.0)	3.0 (3.0)	
③情報インフラの整備・充実	業務の効率化	パソコン等で校務を適切に処理する。	パソコンによる校務処理を推進し、データの共有化を図る。	3.0 (3.0)	3.0 (3.1)	成果：4月、8月、12月にICT職員研修を行った。Webページでは、体育祭や文化祭、修学旅行、オランダ交流学习など積極的に配信することができた。 課題：普段の授業風景をWebに掲載
	学校情報の発信	Webページを見やすくし、定期	Webページを毎月更新し、学校情報			

		的に更新を行う。	の積極的発信を行う。	2.7 (2.8)	3.0 (2.8)	していきたい。 職員のニーズに合わせたICT研修を実施していく。
--	--	----------	------------	--------------	--------------	-------------------------------------

5 開かれた学校

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①保護者や地域・関係機関との連携	保護者との連携強化	生徒の問題点を相互に共有する。	生徒の状況について、保護者と緊密に連携を取り相互に情報提供を行う。	3.0 (3.1)	3.1 (3.1)	成果：P T A活動において諸行事を保護者・職員の連携によりスムーズにこなすことができ生徒の健全育成の助力になった。 課題： P T A活動が一部の保護者に限られ、学校全体の保護者連携という面でやや不足している。今度、一層の情報発信と連携強化に努める必要がある。
	P T A活動の推進	保護者の来校機会を増やす。	公開授業や施設見学、体験学習、生徒発表会等、保護者が来校する機会を設ける。	2.9 (3.0)	3.1 (3.0)	
	積極的な学校P R	学校の情報を発信する。	学校の教育活動を月1回を目途にマスコミ等への広報に努める。	2.9 (2.9)	2.9 (3.0)	
	開かれた学校の推進	地域住民や地域の学校に学校を開放する。	県民大学やパソコン教室の開講や地域の小・中学校及び養護学校の体験学習を積極的に実施する。	3.0 (3.1)	3.2 (3.1)	
	学習成果の公開	学習の成果を地域に公開する。	学校農産物の地域販売や学校給食への供給、研究活動発表等、学習成果をアピールする。	3.1 (3.0)	3.2 (3.1)	

【総 評】

評 価 の 結 果 (課題と問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭学習の習慣定着と共通評価の確立。生徒の主体的な授業展開の実践。 ② 生徒への進路意識の早期向上と勤労観や職業観の強化。自営指導を含めた県内就業の魅力強化。 ③ 教育活動の展開と学びの保障のためのI C T機器の活用。 ④ 多様な生徒への生徒指導上の問題やS N S等からの問題への案件への対応の強化。 ⑤ 志願者確保のためさらに学校P R並びに中学校や外部に対する本校の魅力発信。
来 年 度 の 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> ① キャリアパスポートの有効活用。新学習指導要領の実践と教科ごとの観点別評価の実践定着。 ② 進路決定率100%を目指すためリモート等による2年生からの進路説明会や企業見学を積極的に行う。キャリアサポートスタッフによる生徒への積極的な県内就職支援を行う。 ③ 授業やリモート授業で扱うための職員研修の実施と休校時の授業対応の検討。 ④ 共通理解のための職員研修の実施。民間企業を活用した研修の実施 ⑤ 定員確保に向け、P R内容（進路実現に向けた取り組み）を検討する。

令和5年度 学校評価アンケート【生徒】集約結果

※各項目の評価基準は、次のとおりです。

長崎県立北松農業高等学校

<4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない>

評価項目	No	具体的な評価内容	R4 平均	1学年 平均	2学年 平均	3学年 平均	R5 平均	対前年 変化
教育活動全般	1	北松農高に入学してよかったと思う。	3.3	3.4	3.1	3.1	3.2	↓
	2	学校は、教育方針や学年・学級目標を示してくれる。	3.1	3.2	2.8	3.0	3.0	↓
	3	先生方は、あいさつするとあいさつを返してくれる。	3.4	3.5	3.1	3.3	3.3	↓
	4	先生方は授業で、基礎学力が向上するように努力してくれる。	3.5	3.4	3.1	3.3	3.3	↓
	5	先生方は、家庭学習のための課題を出してくれる。	2.6	3.3	2.9	2.5	2.9	↑
	6	学校での実験・実習は自分にとって将来役に立つと思う。	3.3	3.5	3.1	3.3	3.3	→
	7	学校は、資格取得の指導に熱心である。	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	↓
	8	テストの得点以外の面からも学習の評価がされている。	3.5	3.6	3.2	3.2	3.3	↓
	9	学校は、校則や社会のルールを守るよう熱心に指導している。	3.5	3.6	3.2	3.4	3.4	↓
	10	学校は、進路実現のため熱心に取り組んでいる。	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	→
	11	学校は、悩みや相談に親身になって対応してくれる。	3.1	3.2	2.9	2.8	2.9	↓
	12	学校はいじめのない環境作りのため指導を続けている。	3.2	3.2	2.9	2.9	3.0	↓
	13	学校は、部活動や各種コンテスト等の指導に熱心である。	3.2	3.1	3.0	3.1	3.1	↓
	14	学校は、読書指導に熱心である。	3.0	3.2	3.0	3.1	3.1	↑
生徒活動	15	学校の雰囲気が高く、学校生活は楽しい。	3.2	3.3	2.7	3.0	3.0	↓
	16	意欲的に学習に取り組んでいる。	3.0	3.1	2.7	2.9	2.9	↓
	17	事故目標を持って学校生活を送っている。	2.8	2.7	2.8	2.9	2.8	→
	18	自分から進んであいさつをしている。	3.2	3.4	3.1	3.3	3.2	→
	19	校則を守り、高校生らしい身だしなみをしている。	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	→
	20	朝の10分間読書はしっかり取り組んでいる。	3.4	3.5	3.5	3.3	3.4	→
	21	日ごろから健康管理に努めている。	3.2	3.0	3.1	3.2	3.1	↓
	22	省エネを理解し、節約・節水に努めている。	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	↓
	23	災害時や緊急時には、どのようにすればよいか知っている。	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1	↓
	24	部活動は、先生が来られない時でも自ら時間通り始めている。	3.2	2.8	3.2	3.3	3.1	↓
環境教育	25	学校や農場は、きれいに清掃されている。	3.3	3.1	2.9	3.2	3.1	↓
	26	学校は、危険箇所等への配所があり安全である。	3.3	3.5	3.1	3.3	3.3	→
学れ開校たか	27	農場では、地域の住民や児童・生徒との体験学習の機会が多い。	3.0	3.1	2.7	3.1	2.9	↓
	28	学校は、ボランティア活動の推進に積極的である。	3.2	2.9	3.0	3.1	3.0	↓
その他	29	授業以外に1日30分以上学習している。	2.1	2.0	2.0	2.1	2.0	↓
	30	家庭では、あいさつ礼儀・マナーなどについて注意される。	2.9	2.9	2.6	3.1	2.9	→
	31	朝食を食べている。	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	→
	32	夜は12時前に寝ている。	3.0	2.9	3.0	2.8	2.9	↓
在籍数			189	55	65	69	189	/
回答数			183	47	60	63	170	/
回答率(%)			96.8	85.5	92.3	91.3	89.9	↓

令和5年度 学校評価アンケート【保護者】集約結果

※各項目の評価基準は、次のとおりです。

長崎県立北松農業高等学校

<4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない>

評価項目	No	具体的な評価内容	R4 平均	1学年 平均	2学年 平均	3学年 平均	R5 平均	対前年 変化
教育活動全般	1	本校に入学させてよかったと思う。	3.6	3.6	3.4	3.7	3.6	→
	2	学校は、経営方針や育てたい生徒像を示している。	3.2	3.3	3.1	3.3	3.2	→
	3	先生方は、よくあいさつをしてくれる。	3.4	3.5	3.1	3.4	3.3	↓
	4	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	2.9	3.1	2.9	2.8	2.9	→
	5	先生方は、家庭学習のための宿題を与えてくれる。	2.7	2.9	2.9	2.8	2.9	↑
	6	学校での、実験・実習は子どものためになっている。	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	→
	7	学校は、専門高校として適切な実験・実習や職業資格取得の指導に努めている。	3.4	3.6	3.2	3.4	3.4	→
	8	テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価がなされている。	3.3	3.5	3.3	3.4	3.4	↑
	9	学校は、校則や社会のルールを守らせようと指導している。	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	↓
	10	学校は、生徒の進路実現のため適切な指導している。	3.3	3.3	3.1	3.3	3.2	↓
	11	学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	3.1	3.2	3.0	3.1	3.1	→
	12	学校では、部活動や各種コンテスト等の指導に熱心である。	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	↓
	13	学校はいじめのない環境作りのため指導を続けている。	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	↓
	14	子どもは、自己目標を持って学校生活を送っている。	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	↓
	15	学校の雰囲気がよく、子どもは楽しく学校生活を送っている。	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2	↓
	16	学校は、子どもの様子や健康に関する情報を伝えてくれる。	3.0	3.2	3.0	3.0	3.1	↑
	17	学校では、災害時や緊急時の対応に関して指導がなされている。	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	↑
	18	学校は、地域に根ざした特色ある教育活動を展開している。	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	↑
	19	専門的知識が豊富で、授業内容について信頼できる先生が多い。	3.2	3.3	3.1	3.2	3.2	→
環境教育	20	授業に必要な施設・設備が整っている。	3.1	3.5	3.2	3.4	3.4	↑
	21	学校は、安全管理や緊急時の対応など配慮している。	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	↑
	22	学校は、校舎内外の環境整備に努め安全である。	3.1	3.4	3.2	3.3	3.3	↑
学開かれた校た	23	学校は、保護者が授業参観や施設見学をする機会を設けている。	3.1	3.1	3.1	3.3	3.2	↑
	24	学校は、保護者や地域の人々に農場や体育館などの施設を開放している。	3.1	3.1	3.1	3.3	3.2	↑
	25	学校は、学校内の状況を保護者や地域に広報している。	3.1	3.2	3.1	3.3	3.2	↑
	26	学校は、気軽にいけるような雰囲気にある。	3.1	3.1	3.1	3.3	3.1	→
その他	27	家庭では、毎日(30分以上)するよう指導している。	2.6	2.4	2.5	2.7	2.5	↓
	28	家庭では、服装やマナー・あいさつについて指導している。	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	↑
	29	朝食は食べさせている。	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	↑
	30	子どもは、夜12時まで寝るように指導している。	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	↓
在籍数			189	55	65	69	189	/
回答数			179	55	64	60	179	/
回答率(%)			94.7	100.0	98.5	87.0	94.7	→

令和5年度長崎県立北松農業高等学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所 令和6年2月15日(木) 本校 校長室

2 学校関係者評価委員

委員氏名	学校評議員との兼務の有無	当日の出欠
岩 永 耕 一	兼 務	出 席
西 山 芳 幸	兼 務	出 席
井 沢 真由美	兼 務	出 席
木 村 なつみ	兼 務	出 席
山 口 一 平	兼 務	出 席

3 学校関係者評価の内容

(1) 自己評価の結果について

(進路指導の充実)

- 生活科学科の学習内容は、調理・被服の実習や福祉活動の学習を中心に行っている。昨今の多岐に渡る就職先を見た場合、調理・被服の知識をそのまま仕事に結びつけることは難しい時代になってきている。今後、進路先の開拓や教育課程の検討も必要。農業高校からの具体的な進路を提示してあげることで、さらに興味を持つかもしれない。

(生徒指導の充実)

- 学校の校則については、現在、生徒の委員会において校則の内容検討を実施している。今後、さらに検討を深め、時代や地域にあった本校の校則をつくる予定である。

(地域貢献)

- 農文祭の開催は地元の方が、楽しみにしているイベントの1つである。文化祭の生徒作品の展示などは、他のPR活動場所でも生かせると考えられる。

(情報提供の充実)

- 農業高校からの進路を提示してあげることで興味を持つかもしれない。PR活動やSNSを利用した情報発信は良いと思う。今後も継続してほしい。SNSの情報発信は、生徒が行うことで内容の充実や担当職員の仕事量の削減につながるのではないかと。

(学力の定着と向上)

- 志願者の減少について、進学校に流れる傾向にあるが、生活科学科も入ってみると楽しいという感想を持っている。評議員さんご自身が本校の卒業生で、本校に入ったことで、特に調理等は非常に役立ったという意識があり、さらに資格(検定)も多くとれたことは本校の魅力である。

(2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善策について

- 生徒・保護者ともに課題の提供についての数値が向上している。教科での指導が充実しているためではないかと考えられる。反面家庭学習の習慣化についての時間数は少なくなっているため、内容や実施時間を考慮した課題の出し方が重要になってくると思われる。

(3) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

- 「農業はきつい」というイメージがあるので「農業は楽しい」といった内容を説明会やSNSでアピールしていくことで、志願者増につなげる。また、卒業生の生徒に聞くと、高校名に「農業」とあることが恥ずかしい気持ちをもつ人もいる。

(4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みについて

- 農業の「明るい未来」のようなPR活動をよい具体的な内容を示してはどうか。例えば、ドローンを用いた今後の展望等を伝えていく。農業文化祭での生產品の紹介だけではなく、佐世保地区でのPR活動のような活動を増やしていく。
- 他の農業高校の活動を新聞で見ることがあるので、一般の人の目に触れる機会を

増やしていく方法を考えてみてはどうか